

仙台市議会
議員

鈴木ゆうじ



市政活動報告 令和2年新春号

発行：鈴木勇治事務所
電話：244-7308
〒：982-0805
太白区鉤取本町1-14-32

元号が令和と改まって初めての正月を迎えました。今年も、市民皆様にとって輝かしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、夏には猛暑が続き、秋の10月には台風19号が市内各地に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

宅地、道路、水田など



臨時議会に先立っての所信表明会

市政発展のため全力を尽くします。

新任期は議長としてスタート

の冠水、土砂崩れ等が多発いたしました。いち早い復旧と災害に強い郷土づくりについて、改めて積極的な取り組みをいたしてまいります。

話は前後いたしますが、8月に市議会議員の改選があり、お陰様で私は7期目の任期をいただきました。このうちは市民皆様の代表として、市政の発展と市民福祉の向上のため真摯に議員活動に精進してまいる覚悟であります。

さて、仙台市議会（定数55）は9月9日、議長、副議長の選出と議員の議席確定のため、改選後初の臨時会が開催され、議長に私、鈴木勇治と、副議長に公明党市議団の嶋中貴志氏（59）＝青葉区、5期＝がそれぞれ選出されました。今後共のご指導宜しくお願い申し上げます。

議長選挙立候補にあたっての所信

自由民主党の鈴木勇治であります。このたびの議長選挙に立候補するにあたり、所信の一端を述べさせていただきます。

我が国は人口減少時代を迎え、本市においても近い将来、人口減少が急速に進む見込みです。本市においては、総合戦略などを策定し、取り組みを進めているところであり、何としましても人口減少に歯止めをかける都市間競争に勝ち抜いていかなければなりません。

その中で、二元代表制の一翼を担う議会は、今まで以上に重要な役割を担っているといっても過言ではありません。

まず、議会運営についてであります。これは歴代の議長がご努力頂いてきたと同様、常に公平・公正な立場で丁寧な議論に努め、議会制民主主義の本旨に則ってしっかりと結論を決するべく議長としての役目を果たして参りたいと考えております。

そこで、いくつかの議会改革に関する事項を申し上げます。

一つには、議会と市内大学の協力関係の強化であります。在仙の大学等は熱心に地域貢献をいただいている中、市政や市議会に対して、種々の提言・意見をお持ちなことは明らかです。このような機関との包括連携協定を結び連携の強化を図り、議会の政策形成機能の向上、調査機能の向上、監視機能の強化に努めます。

二つには、情報技術の活用における活かし方についてであります。第四次産業革命といわれる中、私たちが議会でも会議や記録を各種の資料や伝達など、多くを今の情報化時代から、その利便性を取り入れてシステムアッパをしていく必要があると見ます。この結果としてペーパーレスを図れることで、少うし経費の節減が図れます。

情報端末、タブレットの議会の導入を進めます。

三つ目には、政務活動費、議員定数などです。これまでも本市議会では歴代議長のもと、真摯な議論を積み重ね、改革を行って参りました。私としてもこの姿勢を堅持して時代の要請に答えられるよう議員各位の協力をいたさせていただきます。

最後に、前斎藤議長も取り組まれた多くの実績をあげられたのですが、他市議会との連携による課題解決、政策実現についてであり、また、当然ながら東北唯一の政令市の議会の代表として、の自覚を持ち、県内各市、東北各都市との連携・協力のもと共通する課題解決、地方議会の地位向上に積極的に取り組んで参ります。

以上所信の一端を申し上げます。議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

第4回定例会が閉会 台風被害の早い復旧、県事業への関与が議論

令和元年第4回定例市議会は12月5日から20日まで開かれ、補正予算案や条例改正案など計29議案の審査が行われました。

補正予算案は、一般会計では、いじめ対策として専門家による相談窓口の経費1,050万円、台風19号の災害復旧費に7億1,500万円など計7億3,200万円が計上された他、浸水により地下の電源施設等に被害を受けた宮城野区役所の庁舎災害復旧費として7億8,000万円の債務負担行為の設定が提案されました。また、下水道会計では、ポンプ場等の災害復旧に4億2,100万円が計上され、さらに11月に専決処分した32億3,000万円の災害復旧費の報告も上程されました。台風19号による災害復旧費は総額66億円余になる模様とされています。

条例改正案では、公務員の「働き方改革」の一環として繁忙期などに限定して超過勤務時間を年720時間を上限とする「勤務時間、休暇に関する条例」の改正などが審議されました。また県による宿泊税導入も見据え、市独自で宿泊税を創設するよう求める決議が可決されました。

第3回定例会が閉会 初の決算不認定、「確実な穴埋め」の付帯決議

令和元年仙台市議会第3回定例会は、9月19日から10月23日まで開かれ、平成30年度一般・特別・企業会計決算、補正予算、条例案など計39件の議案審査を行いました。決算審査は決算・一般会計補正予算等審査特別委員会を設置して行われ、また道路照明灯の問題は集中審議を行いました。

平成30年度一般会計では、教職員の人件費が県から委譲されたことに伴い約299億円、12%の増でしたが、その分の県民税所得割臨時交付金が皆減となったこと、地方交付税や国庫負担金の減などから、歳入総額は約80億円、1.5%減の5,134億円となりました。歳出面では、健康福祉費や消防費などが増となったが、復興関連費用の減などもあり、約58億円、1.2%減の5,101.9億円となりました。

道路照明灯問題について、決算認定については、自民党（一部は賛成）、公明党、蒼雲の会が反対し、25票対27票の2票差で否決されました。決算不認定は政令市移行後初めて、また東北電力との和解案については「損失額の確実な穴埋めすることを求める」付帯決議をつけました。

議長として、当局に対し、議会答弁が曖昧で不誠実さが目立ったことから、改善を強く申し入れました。

正副議長はいずれも投票で決定しました。立候補をするものは、本会議に先立ち所信を表明することが申し合わせとなっており、前ページに掲載した所信を全議員の前で表明いたしました。（今回の所信表明者は私一人でした。）その後、本会議の場において選挙がおかれ無記名投票の結果、私は51票（55票中）を集めて選出されました。

私は、所信表明では「市内の大学との連携強化、議会におけるペーパーレス化にむけたタブレット導入などの議会改革を進めること、また他市議会との連携による政策実現について、さらに、東北唯一の政令市の議会の代表としての自覚を持ち、県内各市、東北各都市との連携・協力のもと共通する課題解決、地方議会の地位向上に積極的に取り組んで参ります。」と高らかに表明いたしました。



選出決定後に議長就任のあいさつ

議長就任あいさつ全文

議長就任に当たり、一言御挨拶を申し上げます。
 ただいま皆様方の御選任をいただき、第五十六代仙台市議会議長の要職を仰せつかりました。心から感謝申し上げます。職責の重大さを痛感いたします。身の引き締まる思いでございます。
 私は、歴代議長の改革に向けた志を受け継ぎ、市民の負託に応えるため、公平、公正かつ円滑な議会運営に誠心誠意努力する覚悟でございます。議会は、二元代表制の一翼として、議会の役割を踏まえ、市政の充実と発展の、住民福祉の向上に向けて、活発な議論のもと、適切な政策の推進と諸課題の解決に向け、活発な議会活動を行う必要があります。
 私としても、仙台市と本議会の発展のために全力を傾注し、議長としての職責を全うする覚悟でございますので、議員各位並びに市当局の皆様方の御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

台風15号、19号等に伴う自然災害が全国を襲い、各地に大きな爪痕を残しました。特に台風19号は、14都県391市区町村に災害救助法が適用される広域的災害となりました。

早急な防災対策が必要です、本市でも課題が浮き彫りになりました。旧筑川等の本市内の河川が数年前と同じ場所で氾濫するとともに、農業用ため池、都市下水、農業排水路での内水氾濫や排水不良による宅地被害、農地被害が多数発生しました。国土強靱化には時間が必要と言われていますが、年々激甚化する気象災害への対応に猶予はありません。国と連携し早急な取り組みを行う必要があります。

また、造成時期の古い民有地の擁壁の崩落です。農業基盤、道路施設（法面等）の早期の復旧はもちろんです、今後の重点課題は安全性の低い民有地の対策です。改修の支援制度の拡充や創設など、宅地防災の観点から積極的な取り組みが求められます。今後は、私もこの点について十分に意を尽くし努力してまいります。

復旧支援を求め国へ積極的に要望活動

伊東農水副大臣に稲わら処理の支援について要望



赤羽国土交通大臣に激甚災害指定の要望



財務省に災害復旧にかかる財政支援の要望



石原環境副大臣に稲わら処理の支援について要望



大雨により太白区内でも多くの被害



坪沼北地区農地のり面崩落



坪沼板橋地区市道のり面崩落



茂庭字梨野高田水田のり面崩落



山田字竹ノ内前私道破損



太白3丁目佐藤宅のり面崩落



富田八幡中地区市道舗装破損



10/10 全国地域安全運動
第31回仙台大会



11/29 仙台市総合防災訓練
生田中学校にて



9/18 仙台市生き生きまつり
オープニングセレモニー



11/10 まつりだ秋保
オープニングセレモニー



11/1 仙台市交通指導隊
観閲式 南方面隊



10/11 伊達なクラブ体育祭
開会式にて挨拶



11/13 仙台市町内会役員
永年勤続表彰式



11/10 山田ふれあいまつり
山田市民センター



11/4 太白区民まつり
やるっちゃ坪沼メンバー

行事が盛り沢山！
活発に活動



復興事業の東部復興道路が開通

東部復興道路(かさ上げ道路)の全線開通を祝う式典が11月30日午前、震災遺構仙台市立荒浜小学校で行われました。

かさ上げ道路の整備は仙台市の東部地域を縦断している県道塩釜亘理線等を約10kmにわたってかさ上げし、海岸堤防、海岸防災林に続く津波減災の機能を持たせ、内陸側の既存集落や防災集団移転先の安全確保を図るためのもので、津波に対する多重防御の要となります。

